

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 2年 2月 12日 ( 19:00 ~ 19:30 )
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	菅谷・渡邊・山上・坪井・遠藤・宮城

## ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	2人	8人	4人	1人	15人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>初めての利用者様の情報やニーズの共有ができていない時があったので、情報を共有できるようにする。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前の共有をしっかりと行い、利用者様のニーズに沿った対応ができています。</li> <li>利用者様によって情報の共有にバラツキがある。</li> </ul>

## ◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3人	11人	1人		15人
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3人	10人	2人		15人
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	5人	8人	2人		15人
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	5人	8人	2人		15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>事前に既往歴・身体状況などを共有している。 利用日や時間なども都度確認をし、利用者様のニーズに沿った対応ができています</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>支援のバランスが悪い。 1番最初に利用するときの、雰囲気作りが課題。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>利用開始から1週間は特に周囲に馴染めるような雰囲気づくりを強化する。 スタッフ全員で利用者様が不安にならないような声掛けを小まめに行う。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2年 2月 12日 ( 19:00 ~ 19:30 )

2. 「～したい」の実現  
(自己実現の尊重)

メンバー 菅谷・渡邊・山上・坪井・遠藤・宮城

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか?	1人	12人	2人	人	15人

前回の改善計画	・利用者様の「～したい」を把握しきれていなかったため、利用者様の目標を共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・「～したい」を把握できるようになってきた。またその要望に合わせた対応もできてきている。 ・訴えの強い利用者様への対応が弱い。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	2人	11人	2人		15人
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	6人	8人	1人		15人
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	6人	8人	1人		15人
④ 実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	4人	10人	1人		15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者様本人の意思や口に出せない思いをしっかりと聞きながら、「～したい」をしっかりと理解できた また、日常の支援に取り入れることができた。 否定的にならず共感しながら支援をしている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
訴えの要望が強い方へ対応が優先されがちで、訴えの少ない方への対応が遅れがちになっている 利用者様の意向よりも家族の意向が優先されることがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・今後はケアプランの目標が実施できているかを確認し、チームで共有する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2年 2月 12日 ( 19:00 ~ 19:30 )

3. 日常生活の支援

メンバー 菅谷・渡邊・山上・坪井・遠藤・宮城

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか?	2人	12人	1人	人	15人

前回の改善計画	・利用者様の自宅での様子を共有して、些細な変化に気づけるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・利用者様の自宅での様子を家族様とコミュニケーションを取りながら聞き、共有できるようになった。 ・独居の方の様子の把握が不十分

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	3人	11人	1人		15人
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	6人	8人	1人		15人
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1人	12人	2人		15人
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3人	11人	1人		15人
⑤ 共有された本人の気持ちや対象の変化に即時的に支援できていますか?	6人	8人	1人		15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
特に疾患がある利用者様などは交換ノートを通じて情報の共有、対応に努めている。 体調や精神状態などを報告し、スタッフ全員で対応に努めている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
日々の業務に追われて利用者様と関りが薄い時がある。 家族の対応も温度差があるのでこちらから積極的に関わることができない時がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者の体調や変化やニーズなどを全スタッフに情報の共有を行い変化に対応できるようにする。 家族にも小まめに連絡を取り合い関係性を密にしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2年 2月 21日 ( 19:00 ~ 19:30 )

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 菅谷・渡邊・新里・高橋・小堀

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	3人	11人	1人	人	15人

前回の改善計画	・近隣や友人関係を把握し、本人が希望する地域の関りをできるだけ支援できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・利用者様のお話の中で、隣人や交友関係などを把握できるようになってきた。 ・利用者様によっては近隣の協力が難しいケースが多く、支援までいたらない。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	7人	7人	1人		15人
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないうように支援していますか?	2人	12人	1人		15人
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	5人	9人	1人		15人
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	6人	8人	1人		15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	独居の方の買い物支援、自治会との連絡調整地域で孤立しないような関係の構築ができている

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
	地域の特性も違うので利用者様によりばらつきがみられる。 利用者様によっては把握できないことも多い。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	自宅での生活や過ごし方をよく見て何が不足しているか検討する。 スタッフ一人一人が意識をして情報を小まめに共有して、適切な対応を考える。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2年 2月 21日 ( 19:00 ~ 19:30 )

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 菅谷・渡邊・新里・高橋・小堀

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	7人	6人	2人	人	15人

前回の改善計画	・利用者様家族などの協力を得て、小規模多機能型居宅介護らしい柔軟な対応をできるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・利用者様の状況に合わせて「通い」「訪問」「宿泊」をうまく活用できている。 ・スタッフによってはうまく対応できていない時がある。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	6人	6人	3人		15人
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	8人	6人	1人		15人
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	4人	9人	2人		15人
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	10人	5人			15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	急な予定外の対応、利用日の変更、お泊りの対応を柔軟に行っている。 また、体調不良時の安否確認、家族への連絡調整なども行っている。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
	スタッフによる対応にばらつきがある。 変化に対応できず利用者様を不穏状態にさせてしまう時がある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	全スタッフが柔軟な対応ができるように研修を行う。 また今の生活に対するサービスが適切かどうか見直しをする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2年 2月 21日 ( 19:00 ~ 19:30 )

6. 連携・協働

メンバー 菅谷・渡邊・新里・高橋・小堀

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	2人	10人	3人	人	15人

前回の改善計画	・ 包括支援センターや地域自治会、医療機関など連携をして利用者の対応できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域包括支援センターと連携を構築できている。 医療機関との連携も以前よりスムーズに行えるようになっている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	9人	6人			15人
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	5人	8人	2人		15人
③ 地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	3人	10人	2人		15人
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	2人	11人	2人		15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	運営推進会議において地域包括支援センターの方と連携を構築できている。 利用者様の医療機関とも連携し、持病や症状などの相談を受けていもらい協働できている。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
	地域の住民の方にはまだ具体的にどんな施設なのか周知不足がある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	自治会長にも協力を得ながら気軽に地域の方にも見学に来てもらえるようなイベントを企画する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2年 3月 13日 ( 19 : 00～ 19 : 30)

7. 運営

メンバー 菅谷・渡邊・山上・高橋・濫觴・宮城

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	4人	10人	1人	人	15人

前回の改善計画	・運営推進会議を通して、事業所の内容をさらに知ってもらえるようにし、 いただいた意見を施設運営に反映できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・運営推進会議での意見を施設運営に反映できている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	3人	12人			15人
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	7人	7人	1人		15人
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	7人	7人	1人		15人
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	3人	7人	5人		15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
意見や苦情などを運営に反映している。 法令順守を心がけて対応ができている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
近隣住民との関係構築までには至れていない。 まだまだ地域全体に対して認知されていない	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
地域密着型の施設として介護を利用するのが初めてな方など気軽に相談ができるような施設であることを認知してもらい、関係を構築していきたい。 施設でのサービスなどを理解してもらえるようなイベントを企画したい。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2年 3月 13日 ( 19 : 00～ 19 : 30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 菅谷・渡邊・山上・高橋・濫觴・宮城

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	5人	9人	1人	人	15人

前回の改善計画	・ 全体研修や認知症サポーター養成講座などに参加してもらう。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ 4施設合同の介護技術向上講習などがあり、介護技術の向上がみられた ・ 認知症サポーター養成講座など参加して知識の向上が図れた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	6人	8人	1人		15人
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3人	11人	1人		15人
③ 地域連絡会に参加していますか	1人	13人	1人		15人
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか	7人	7人	1人		15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	看護師ミーティングなどで医療的な部分のリスクの共有ができている またヒヤリハットや事故などの対策内部研修も毎月行っている。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
	支援方法や介助方法などスタッフによってはばらつきがある 一定の質のサービス提供が行えていない

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・ 事業所全体での研修を行えるようにする。また全スタッフのサービスの質の向上をする。 ・ 現状の利用者様を想定した実践形式の研修をおこなうようにする。



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2年 3月 13日 ( 19: 00～ 19: 30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 菅谷・渡邊・山上・高橋・濫觴・宮城

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか?	10人	5人	人	人	15人

前回の改善計画	・今後継続して、身体拘束、虐待などを絶対のしないようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・継続して取り組むことができた。 ・研修でも身体拘束・虐待の基本知識を習得することができ継続して実践していきたい。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 身体拘束をしていない	9人	6人			15人
② 虐待は行われていない	11人	4人			15人
③ プライバシーが守られている	8人	7人			15人
④ 必要な方に成年後見制度を活用している		13人	2人		15人
⑤ 適正な個人情報の管理ができている	8人	7人			15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>身体拘束・虐待はしていない。</p> <p>身体拘束・虐待防止・トイレや入浴介助などは特に配慮して行動している。</p> <p>個人情報の資料は鍵のかかっている棚に保管しており、適切に管理されている。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>言葉遣いに気をつける。</p> <p>スタッフ同士の会話への配慮が足りない時がある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>接遇マナー研修などは定期的に行うようにする。</p> <p>継続して敬意を持った話し方、スタッフ同士の会話も十分に気をつける。</p> <p>個人情報の注意喚起は継続して行う。</p>	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	(株)野澤實業	代表者	野澤 充広	法人・事業所の特徴	自然の多い環境で、のどかな地域に恵まれて、のんびりとした家庭的な雰囲気でお過ごしいただける事業所です。
事業所名	のずの里 もばら	管理者	菅谷 秀之		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣住民	事業所職員	合計
	0人	0人	1人	5人	0人	3人	1人	8人	18人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み	意見	今回の改善計画
A.事業所自己評価の確認	意見を取り入れ改善計画を作成する。	多くのご意見を頂き、さらに良い施設になるように努力していきます。	職員同士で仕事のルールが分かれている場合がある。物事に対する意識が統一されていないのか？	毎日二回のミーティング以外に職員が参加する話し合いを月一回開催する。
B.事業所のしつらえ・環境	継続して安心して利用者が発表に困らず、参加者様が理解しやすい発表を行う。	対象月のイベントや評価の際の写真を見て具体的にやったことや、楽しかったことを発表していただく。	コロナウイルスの影響もあり外出支援やボランティア団体様も呼べないので利用者様に工夫して楽しんで過ごしてもらう必要があるのではないか？	室内でお弁当を楽しんでいただいたり室内でできるレクリエーション活動は楽しむ機会を作る。
C.事業所と地域のかかわり	地域への周知を継続して行い、周知してもらう努力をする。包括支援センターと協力して、理解を頂く。	避難訓練、イベントの際には近隣の方に声をかけ、周知していただいております。また、包括支援センターと協力して、地域自治会への小規模の説明を行っております。	感染症対策もあり交流も少し減ってきている。	自治会長より地域の広報誌をいただいたりして情報収集したり七夕の竹を地域の方にいただいたり地区でのやり取りを継続していく。
D.地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	実際に近隣としてどのように相談ができるのかを事例でご理解いただく。	実際に近隣の方からの相談などを発表してご理解いただく。	地域での困っている人はいないのか？	地域包括の方以外からも利用者様から近くで困っている人がいるとの情報があるときは出向いてお話を聞いたり。パンフレットを渡してご案内しています。
E.運営推進会議を活かした取り組み	イベントの写真はもちのこと日常的なレクリエーションの様子も把握していただく。	議事の際にイベントだけでなく、日常の様子も掲示してご理解を頂く。	施設での状況がよりわかりやすくなってとてもいいと思う。継続して行ってほしい。	施設内でのイベント・日常の様子や取り組みなどさらにわかりやすく説明できるようにしていきたいと思います。
F.事業所の防災・災害対策	避難訓練実施前に近隣や自治会に協力をお願いし、参加できる体制を整える。	近隣の方にお声掛けをして、避難訓練、水消火器訓練、AED講習などに参加していただく。	継続した防災訓練が必要です。	継続した避難訓練や備蓄品の点検など引き続き安全面に注意して計画を進めていく。
G.感染症対策について			だんだんとコロナウイルスが増加している。利用に不安を感じる可能性がある具体的な対策をどうしているのか？	職員の検温・健康チェック・1Hごとのうがい手洗い送迎時の利用者様の検温・間仕切りの設置後は資料参照